

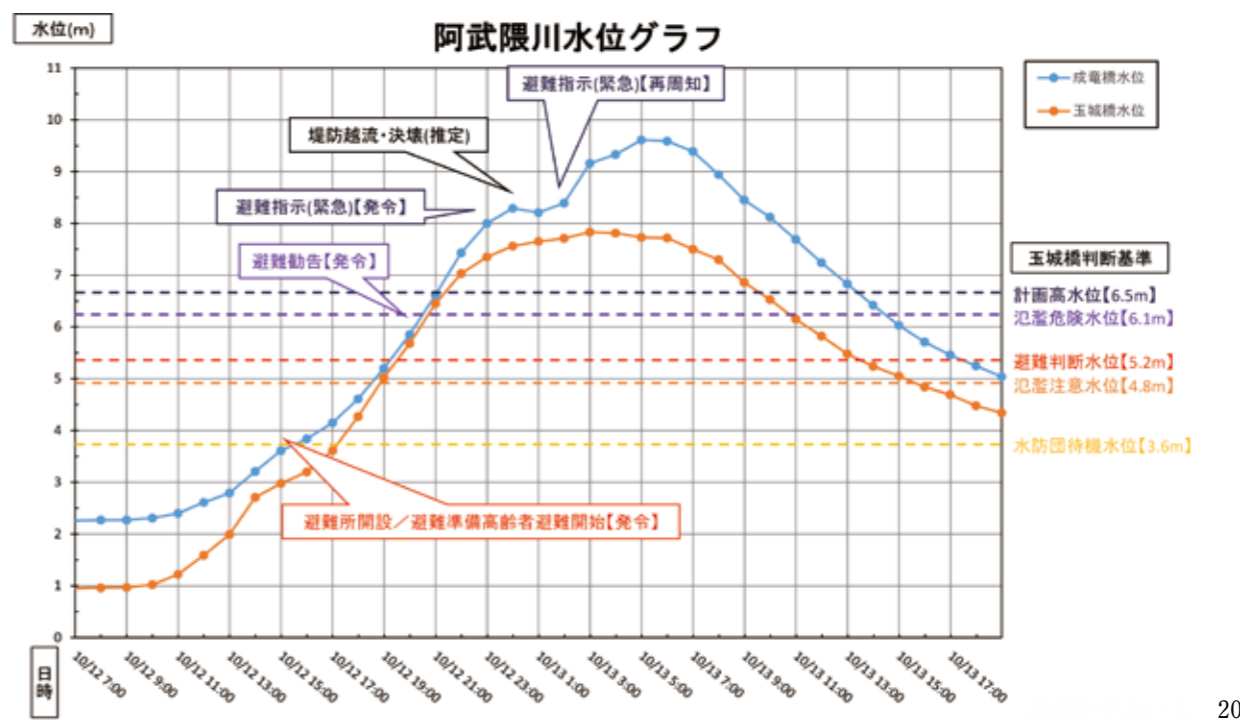


成田地区上空から※赤丸囲みは決壊した箇所（10月13日午後、撮影・提供：国土地理院 ※一部合成）

堤防の応急復旧完了

阿武隈川、鈴川では、大雨が降り続けた影響により大幅に増水し、矢吹町との境界付近で1か所、阿武隈川と鈴川の合流地点付近3か所の計4か所で堤防が決壊しました。このうち、矢吹町との境界付近では阿武隈川堤防が幅約140m、高さ約7mにわたって決壊、地面が大きく削られており、堤防決壊時に強い勢いで水が流れ込んだことが分かります。また、堤防の洗掘（川の流れにより堤防表面の土が削り取られること）は5か所で確認されています。さらなる大雨による二次被害が心配される中、10月16日（水）、須賀川土木事務所発注による堤防決壊箇所の応急復旧工事が始まり、26日（土）には4か所全ての応急復旧工事が完了しました。

このほか、東北地方整備局により決壊箇所を衛星中継で24時間監視できるライブカメラの設置、大雨に備え大型排水ポンプ車が配備されるなどの対応が取られました。



決壊箇所①（矢吹町境界付近）

決壊箇所②（河川合流地点）

